

## 第2回 あきる野市地域公共交通協議会 会議録

日 時	令和5年12月4日（月）午前9時30分～11時
場 所	あきる野市役所5階 504、505会議室
出席者	会 長 小根山 裕之 副会長 大久保 丈治 委 員 高野 喜一、竹之内 正雄、倉科 大地（代理：川上 優 氏）、黒田 誠、山口 和彦、米澤 暁裕、黒山 一成、榊原 秀明、原 泰朝、杉本 伸幸、鈴木 淳（代理：染谷 悠一郎 氏）、高橋 伸子、山田 参生、有馬 哲司
事務局	企画政策課、地域防災課（関係課） 株式会社サンビーム（公共交通実証実験支援業務受託業者）
傍聴人	7人

<b>1 開 会</b>	
事 務 局：	<p>「第2回 あきる野市地域公共交通協議会」を開催する。</p> <p>委員各位においては、ご多用の中、あきる野市地域公共交通協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>本日の主な議題は、公共交通の実証実験及び講演であるが、3の議事等については報告を中心とし、地域公共交通計画の策定を進めていく中での事前の準備として、4の講演を中心に進めていく。</p> <p style="text-align: center;">※ 資料（事前送付、当日配付）を確認</p>
<b>2 挨拶（会長）</b>	
会 長：	<p>本日は地域公共交通協議会の2回目で、本格的に地域公共交通計画策定に向けて進んでいく段階となってきた。</p> <p>本日の講演の中では、地域公共交通計画に向けての委員の皆さんの認識を統一させ、同じ方向を向いて前進していきたいということから、今回の講演という機会を設けた。本日は、講演・議事含めよろしくお願い申し上げます。</p>
<b>3 議事等</b>	
（1）公共交通実証実験の進捗状況等について【資料1】	
会 長：	<p>本日は傍聴の希望があり、これを許可する。</p> <p>（1）について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">※ 資料1を用いて事務局から説明</p>
会 長：	事務局から説明があった内容について、意見、質問等があれば伺いたい。
委 員：	<p>チョイソコを運行している事業者である。資料1では現在の利用者数等を示していただいているが、その中には表われない、乗車できなかったお客様について、最近乗務員からよく話を聞くようになった。今まで毎日利用していた方が予約を取れなかったケースが増えてきているという話も聞く。乗務員からは、こうしたことが増えているのではないかと聞いていたため、ご報告させていただく。</p>

会 長 :	貴重なご報告をいただいた。そのような数字はデータとして取れているのか。
事 務 局 :	資料1(2)の表に「利用人数」という欄がある。直近10月に草花折立区域に区域拡大をしてから、利用者数が227名と多くの方にご利用頂く状況にある。 様々なデータを集計できるシステムは所有しているが、その中で利用に至らなかったケースのデータについては持ち合わせていない。 しかし、希望の時間から20分以上ずれて予約が成立した、もしくは前倒しで予約が成立したといったケースが増えてきていることは数字として押さえている。 サービスレベルという点で、利用のタイミングに沿わないケースが増えてきていることは把握している。
会 長 :	今は実証実験であり、開始当初の設定から少しずつエリアを拡大してきた。それによって利用者を増やしたりサービスレベルを高めたりしたいという目標はあるが、実証実験という観点からは、サービスエリアを増やして対象となる人が増えたときに、どれほどサービスレベルの変化があるのかといったところを見ていくことは、今後1台でどれくらいのエリアをカバーしていくかを考えていく上で非常に重要だと思う。これらの見える化について、可能なものについては、期間的な推移やエリア拡大に対してどのように変化したのかが分かるように整理し、提示していただきたい。  他、意見、質問等があれば伺いたい。
委 員 :	先日、野辺地域の町内会で、75歳以上の方が参加する敬老会が開催され、私は参加できなかったが、チョイソコの案内があったと聞いている。その後、地域で話を聞いていたところ、チョイソコについて次のような声があがった。 1つ目に、対象地域について、停留所まで遠いため自転車を使いたいが、停留所の付近に駐輪場や自転車を置く場所がない、という話である。できれば地域の公園などに自転車を置く場所を設けても良いのではないかと思う。 2つ目に、私たちがよく利用する施設として、市役所、公民館、病院・医院等があるが、特に、病院・医院の目的地となる停留所が限られており、これでは上手く活用できないという声があった。 3つ目に、停留所が近くにあるが、若い人(※50歳くらい)でも利用して良いのか、という声があった。 特に2点目については、医院の停留所はいくつかあるものの、それが自分の通い慣れた医院ではないということもある。医師会等と協力しながら改善していくことができないかと考えている。
事 務 局 :	停留所までの足として自転車を使うために停留所に自転車を置く場所がほしいという話については、住宅地の中に停留所がある関係で設置が難しい箇所もあるため、状況を整理しながら検討していきたいと思う。 目的地の停留所の件については、バスやタクシー等の既存の事業者様との兼ね合いもあるため、本格導入に向けてどこに設置していくのかといったところも含めて協議会の中でご意見をいただきながら検討していきたい。
委 員 :	現在の利用者数であると、乗合いをしながら運行をする場合が多いが、先日の網代のお客様のお話では、途中の経由地が多く、乗車から降車まで50分ほどかかっ

	<p>てしまったというご指摘をいただいた。こうしたこともあり、あまりにも多く乗りすぎてしまうというのも問題だと思う。</p>
会 長 :	<p>そういったこともサービスレベルの低下といえる。もちろん、そのようなことがデータとして取れるものと取れないものとあると思うが、データが取れるものに関しては、ぜひ提示いただきたい。</p> <p>るのバスについて見ると、既存便ベースでも令和元年のコロナ前の利用者数を超えたということだが、既存便と以前のものを比較し、実証便はそれ単体としてという見方よりは、トータルで見て分析していくべきだと思う。</p> <p>そうした中で、10月には過去最高の235人を記録したが、運行本数が増えたことにより、それまでカバーができていなかった時間帯において新たなお客様に乗ってもらえるようになったのだと思われる。それについて、どういった要素が影響しているのか、今後どのようにしたら利用者が増えていくのか、今後検討や検証が必要である。</p> <p>いずれにしても、現状は利用が伸びている状況であるが、先ほどのお話にあったように、現在登録しているのに利用していない方もいる。あるいは、はじめはお試しで利用したがその後利用しなくなったお客様もいると思われる。こういった方々に対し、なぜ使わないのか、使うのをやめたしまったのか、そういった方々にアンケートやヒアリングを実施し、利用者像を明らかにして欲しい。利用者数やサービスレベルの推移を十分に留意しながら、運行サービスや利用者を増やすための対策を進めていただければと思う。</p>
<p>3 議事等</p> <p>(2) その他 デマンド型交通実証実験に関するアンケート調査について【資料2】</p>	
会 長 :	<p>(2)【資料2】について、事務局から説明をお願いする。</p>
	<p>※ 資料2を用いて事務局から説明</p>
会 長 :	<p>資料2は、設問一覧ということで、どういったことをどのように聞くのか、コンパクトにまとめた資料ということだが、実際にアンケートとして送付するものは、回答がしやすい形式になるということなのか。</p>
事 務 局 :	<p>案内含めA4版12ページのもので、区域ごとに作成する予定である。</p>
会 長 :	<p>アンケートの実施スケジュールについては、早いところで12月中旬から送付するということだが、アンケートの内容についてはこのまま進めていきたいという報告なのか、それとも意見があれば対応ができるということなのか。</p>
事 務 局 :	<p>申し訳ないが、すでに印刷作業に着手しており、この内容で進めさせていただくというご報告である。</p> <p>内容については、過去に行ったアンケートを踏襲しており、既に本会議の前身会議体である公共交通検討委員会においてご協議いただいたものがベースとなっているため、ご理解いただきたい。</p>
会 長 :	<p>では、アンケートの実施についてのご報告という形で捉えていただければと思う。</p> <p>このアンケートは、先ほども申し上げたとおり、なぜ利用していないのか、なぜ利用しなくなったのか、今利用している方がどのようにサービスレベルについて考えているのか、またどのように行動が変わったのかなどといったところをとらえるこ</p>

	とは、サービスレベルの把握や、それを改善するためにはどうしたら良いか、あるいはデマンド型交通を地域公共交通計画の中でどのように位置づけていくべきかを考える上で、重要な基礎資料となるものなので、次に活かせる形で実施いただければと思う。
<b>3 議事等</b>	
<b>(2) その他 「青梅・羽村・福生～羽田空港線」の秋川駅へ乗り入れ開始について【資料3】</b>	
会 長 :	(2)【資料3】について、西東京バス株式会社の黒田委員から説明をお願いする。
	※資料3を用いて黒田委員から説明
会 長 :	私の大学は八王子にあるが、このエリアは羽田空港に向かうのが不便であるため、このような路線ができるのは非常にありがたいことだと思う。  それでは、以上で「3 議事等」を終了する。ここで進行を事務局に戻す。
<b>4 講演「地域公共交通計画策定に向けて」</b>	
<b>(1)「地域公共交通の課題と最近の動向」 東京都立大学都市環境学部教授 小根山 裕之 様</b>	
事 務 局 :	今回、「地域公共交通計画策定に向けて」というテーマでご講演をいただくことについては、今後、本協議会において、地域公共交通計画に向けた本格的な議論を進めていただくに当たり、委員に、地域公共交通に関するご認識を共有いただき、同じ目標・到達点を見据えた上でご議論いただきたいことから、ご講演をいただくこととした。  はじめに、本協議会会長で東京都立大学教授の小根山裕之様から「地域公共交通の課題と最近の動向」について、ご講演いただく。  続いて、国土交通省関東運輸局東京運輸支局総務企画担当の染谷悠一郎様から地域公共交通計画の意義・目的等についてご説明いただく。  それでは、はじめに、小根山会長から「地域公共交通の課題と最近の動向」について、ご講演いただく。
	※ 講演資料1を用いて講演をいただいた。
<b>4 講演「地域公共交通計画策定に向けて」</b>	
<b>(2)「地域公共交通計画の作成について～入門編～」 国土交通省関東運輸局東京運輸支局総務企画担当 染谷 悠一郎 様</b>	
事 務 局 :	続いて、国土交通省の染谷悠一郎様から、地域公共交通計画策定に向けて、地域公共交通計画の意義・目的等について、ご講演いただく。
	※ 講演資料2を用いて講演をいただいた。
事 務 局 :	本日は、お二方から貴重なお話を頂いた。深く感謝を申し上げます。
<b>5 その他</b>	
事 務 局 :	続いて、「5 その他」に移る。事務局から2点、事務連絡を申し上げます。 1点目は、令和5年10月3日付で「あきる野市公共交通の充実を求める会」から、「るのバス増車・コース等、市民要望の為の要望署名について」として、計2,528件の署名の提出があったことを報告する。内容としては、「あきる野市全域による改善要望」として1,994件、「草花地域による改善要望」として319件、「小川を中心とした周辺からの改善要望」として215件となっている。次回以

	<p>降、地域公共交通計画の策定を進めていく議論の中で、検討資料の一つとして議論いただくことになろうかと思う。</p> <p>2点目は、次回会議の日程である。次回会議は、現時点で令和5年12月25日(月)の10時からを予定している。委員には改めて連絡をするので、よろしくお願い申し上げます。</p>
6 閉会	
事務局：	<p>本日は、委員から貴重な意見をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>次回の協議会については、12月25日を予定している。改めて連絡する。</p> <p>以上で、第2回地域公共交通協議会を終了する。</p>